

観光地の秋保にて、生産者と連携して有機農業のイベントを開催

有機農業の日特別期間中に、観光地にある地元企業の協力を得て、消費者の有機農業に関する理解醸成に向け、生産者による対面販売を中心としたイベントを開催した。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略、消費者対策

○ きっかけ・背景、課題の把握

県内地元企業である、お茶の井ヶ田(株)（秋保ヴィレジアグリエの森において直売所を常設）と意見交換をした際に、有機農業で生産された農産物に関心を持っている顧客が増加しているとの話を伺った。そこで、有機農業の日特別期間をきっかけに、より多くの消費者に有機農業について知ってほしいとの思いから、対面販売を中心としたイベントを企画した。

○ 取組の内容

事前準備として、対面販売の協力が得られる生産者を探すために、説明会の実施、圃場への訪問、ブースの企画、会場周辺のホテル等へのチラシの設置依頼等を行った。イベントは、12月7日（日）に秋保ヴィレジアグリエの森の広場で開催し、対面販売のほか、子供向けブースや東北農政局のブースを設置した。来場者に対しては、アンケートを実施して、有機農業で生産された農産物の購入に係る消費者の意識等を把握した。

○ 効果・成果、今後の方向性

テレビのニュースで報道され、PR効果があったものと期待している。今後、アンケート結果を分析し、消費者に対する環境に配慮した農業の理解促進をさらに進めていきたい。



対面販売



農政局ブース

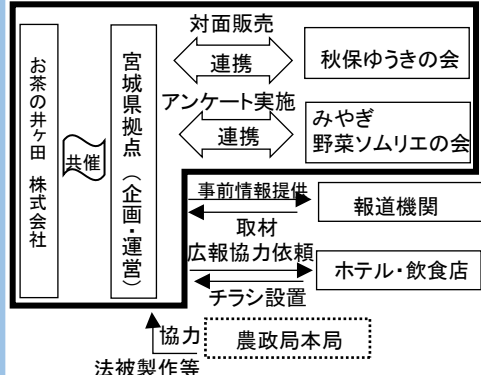


乳しぼり体験



マグネット作り

体制図



集合写真